

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 2月25日

事業所名 放課後等デイサービス トラスト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	○		寝たきりの子どもと走れる子どもでのスペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切である	○	○		職種や経験を考慮してスタッフを配置します
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差は滑り止めマットをつけた坂を設置したり、壁やテーブルを保護しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	○		非常勤スタッフもともに参画できる機会を設けます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	○		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○		第三者による外部評価は開始段階のため、今後業務改善につなげていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	○		事業所内の研修だけでなく、幅広く外部の研修にも積極的に参加していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	○	定期的に療育活動会議を開催しています	季節の行事やイベントをさらに取り入れていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	○		様々なプログラムを考案して、固定化しないような工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	○		平日や休日ごとに支援内容を検討していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	○		毎朝申し送りを行っていますが、全スタッフが参加できないため、リモートなどを駆使して参加できる体制を整えます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○		リモートなどを駆使して全スタッフが参加できるような体制を整えていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○		必要に応じて看護師を参加させることでより詳しい子どもの状況を把握しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	○		新型コロナウイルスによる緊急下校等、臨時の場合には速やかに連絡をとることで適切な対応を目指します。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	○		移行支援の対象者はいません
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	○		移行支援の対象者はいません
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	○		新型コロナウイルスの影響のため難しいですが感染対策を講じて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	○		新型コロナウイルスの影響のため難しいですが感染対策を講じて検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○		日誌やline等を活用しながら子どもの様子や状況をさらに伝えていけるよう取り組んでいます。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	○		まずはペアレントトレーニングについてスタッフの知識や技術を深め、適切な支援が提供できるよう取り組んでいます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	○		電話や口頭だけでなく、lineやメールを使うことで話しやすい環境づくりを行っています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○		新型コロナウイルスの影響のため難しいですが感染対策を講じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	○	定期的に各保護者様に子どもたちの様子が分かるような写真付きの用紙を配布しています	さらにSNSなどを活用し、情報発信を行います。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○		新型コロナウイルスの影響のため難しいですが感染対策を講じて検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	○		スタッフへは周知していますが、保護者様への周知は不十分なため、さらに周知を進めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	○		車椅子ベルトやてんかん帽の同意書はありますが支援計画には記載されていないため、計画書に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			ご家族と連携をとり、都度確認しながら対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	○		ヒヤリハット事例の数が少ないため、事例集を作成し、共有していきます。